Webhooksとは？

概要

Webhook（別名**コールバック**）を使用すると、**サードパーティー**のAPIをトリガーしたりWalkMeイベントデータを分析**プラットフォーム**に追加したりすることで、**ワークフロー**にWalkMeを直接組み込めます。

APIインテグレーションは、多くの場合リソースを大量に消費し、**サードパーティーツール**による制限があるため、一定の間隔を置いて実行されます。 大規模なデータセットを更新する場合はこれで問題ありませんが、即時性が重要なデータに遅延が発生し、場合によっては配信される前にデータが古くなりすぎることもあります。

イベント自体がトリガーするWebhookなら、任意のシステムにリアルタイムのWalkMeイベント情報を配信できます。 つまり、 **遅延なく情報を受け取ることで、チーム**は即時性の高い情報に即座に対応できるようになります。

Webhookはサーバー間の呼び出しを使用して安全にデータを転送し、開発作業の必要はありません WalkMeのWebhookは、GETまたはPOSTメソッドのあらゆるHTTP呼び出しをサポートしています。 ペイロードはJSONである必要があります。

ユースケース

Webhookのユースケースには以下のようなものがあります。

- **お使いの分析ツールやBI ツールに** リアルタイムのWalkMeイベントを追加できます。
- **WalkMeイベントに基づいて** サードパーティのAPIをトリガーします。 実装例には以下が挙げられます。
    - Walk-Thru（ウォークスルー）のGoal（ゴール）に到達したら即座にSlack通知を受信
    - エンドユーザーが販促用ShoutOut（シャウトアウト）をクリックしたらマーケティングリストにユーザーを追加
    - エンドユーザーがWalkMe Survey（調査）を提出して追加のヘルプを要請した場合にZendeskチケットを作成
    - Onboarding（オンボーディング）タスクを完了したユーザーをスプレッドシートに追加することでオンボーディングを追跡します。
    - エンドユーザーがWalkMe NPS調査に回答すると、メールを受信します。

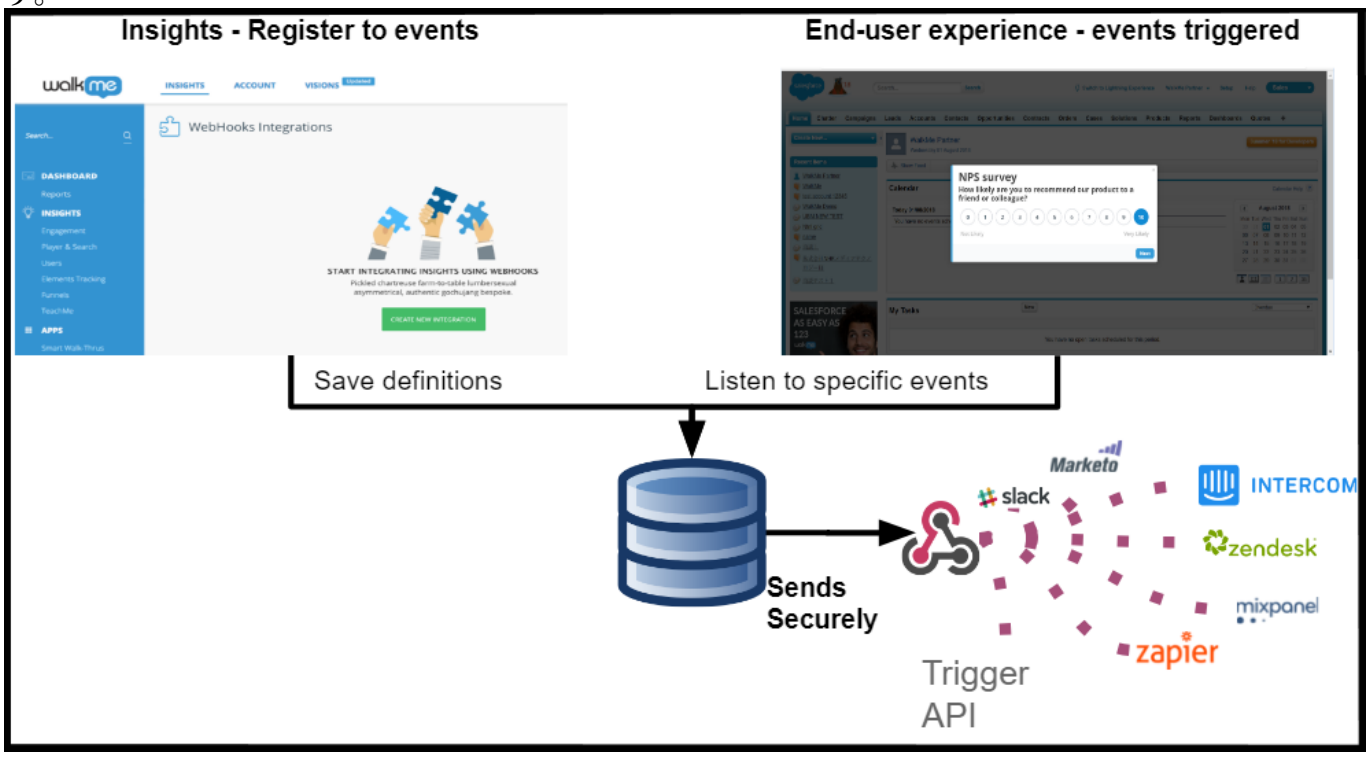
使用方法

Insightsでは、特定のWalkMeイベントを登録したり、 Webhookを設定したりすることができます。

エンドユーザーがアプリケーション内で登録したWalkMeイベントを操作すると WalkMeは内部

のWalkMeサーバーにイベント通知を送信します。

次に、内部のWalkMeサーバーはWebhooksの設定時に特定した接続先システムに呼び出しを入力します。



Webhooksの構築方法

構築方法については「*Webhooksを使ってWalkMeイベントデータをサードパーティーシステムに送信する方法*」の記事をご覧ください。